

薬学英語 A

English for Pharmaceutical Purpose A

薬：K2-15211MY、生命：K2-15211MS

素養科目 2年／前期 1単位 必修科目

科目責任者 林 弘美(英語・英語学研究室)

■教育目的

薬剤師、薬学研究者、医療従事者として、将来、仕事上で英語を使う場合に実際に必要となるのは、口語の場合も文章の場合も、専門的な用語・表現であろう。薬学の中でもさまざまな分野において、その分野特有の専門用語や専門的表現がある。それぞれの分野の特殊な用語や表現を習得し、同じ専門家同士で理解を深め、コミュニケーションができるようになることがこの科目の目的である。下記テキストを用いて、現在の医療と社会の諸問題を理解し、あるべき医療の姿を考え、医療人としてのものの考え方、倫理観、態度を養う。

【卒業認定・学位授与の方針：YD-②、YD-④、YD-⑥、SD-①、SD-②、SD-③】

■学習到達目標

1. 英語で書かれた科学、医療に関連する著述の内容を正確に説明できる。(知識・技能・態度)
2. 科学実験、操作、結果の簡単な説明に関する英語表現を列記できる。(知識・技能・態度)
3. 科学、医療に関連する簡単な文章を英語で書くことができる。(知識・技能・態度)
4. 英語の会話を聞いて内容を理解して要約できる。(知識・技能・態度)
5. 英語による日常会話での質疑応答ができる。(知識・技能・態度)
6. 主な病名、組織・臓器名、医薬品名などを英語で発音できる。(知識・技能・態度)

■準備学習（予習・復習）

予習：授業予定の章の英文をテキスト付属の音声データを聞きながら読み、分からない単語や事柄を辞書や専門科目の教科書、あるいはインターネットなどで調べる。練習問題に自分で取り組む(50分以上)。

復習：学習した英文を読み直し、不明なところがないようにする。練習問題の内容も確認する。関連する分野の英文をインターネットや図書館の雑誌で探して読んでみる。また、インターネットやテレビ放送などで外国の英文ニュースを視聴する(60分以上)。

■授業形態

課題解決型学習、グループワーク、双方向型授業（ICT活用）、講義

■授業内容

- 医療・生命科学・薬学各分野の英文を読み、正確な読解と速読ができるようにする。
- 医学用語の成り立ちを理解し、専門的英語に特徴的な語法を学ぶ。
- 英文法と語法に適った英文を作り、英語の文章にふさわしいパラグラフ構成を理解できるようにする。
- 医療場面で必要な英語の表現を身に付け、医療英語の発音を練習して、相手の気持ちに配慮した応答ができるようにする。
- 適宜アクティブラーニング室を利用し、ICT機器を活用した双方向型授業を行う。

テキストで取り上げられている英文のテーマ

1. And Down She Goes (1)
2. And Down She Goes (2)
3. Simple Sickness Gone Awry (1)
4. Simple Sickness Gone Awry (2)
5. Confusion That Comes And Goes (1)
6. Confusion That Comes And Goes (2)
7. Brain Got Your Tongue? (1)
8. Brain Got Your Tongue? (2)

他に薬学関連の英文教材をプリントにて配布する。

■授業分担者

A組 1班：林 弘美、 A組 2班：稲田 俊一郎、A組 3班：小田島 創志(非常勤)
B組 1班：小田島 創志(非常勤)、B組 2班：林 弘美、 B組 3班：刑部 昂(非常勤)
C組 1班：刑部 昂(非常勤)、 C組 2班：稲田 俊一郎、C組 3班：林 弘美

■課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

- ・練習問題や小テスト等により理解度を確認し、解説等によりフィードバックを行う。
- ・講義に関する質問等を個別に受け付け、解説・説明をする。
- ・期末試験(90%)および小テスト(10%)で総合評価する。

■教科書

Signs and Symptoms: True Stories by Doctors Harumi Oshita, Chidlow Sean, Shigeru Mori 著(南雲堂)